

1年道德通信

第34号

第34回『カメは自分を知っていた』



第34回目の道德では、百人一首大会でライバル関係にある生徒たちの物語を通して、自己を知り、向上心をもって物事に取り組む姿勢について考えました。百人一首大会の学級代表決めで、小学校時代に誰よりも早く百首の暗記をした美麻は、同じ小学校出身の里子に負けてしまいました。大会で自分の活躍する姿を思い描いていた美麻は、悔しい気持ちでいっぱいです。帰り道、同じ小学校出身で隣のクラスの耕司に、里子に負けたことを伝え、里子が小学校時代にがんばっていたことを教えられます。自分のノートを作って、意味も調べるなど、こつこつとがんばっていたのです。耕司は、「ウサギとカメ」の話を思い出したと言います。カメは自分を知っていたのではないかと解釈したのです。小学校時代の里子と今日1位になった里子の姿を思いうかべ、じっと考える美麻でした。

みんなの意見

自分のよさを伸ばすために大切なのは、どんなことでしょうか。

- 自己の長所や短所を理解し、高められるところまで高めるというやる気と、自分のことを好きになること。
- 自分の弱さを自分の良さでカバーして、その良さに自信を持って、自分で自分のことをよく知っておくこと。
- できるからと油断せずに努力を続けて、上を目指す。
- 自分よりもっともっと上に目標を作る。そしてその目標に向かって努力し続ける。
- 自分の良さをもっと生かして努力する。色々なことにチャレンジする。
- こつこつ努力する。目標を持つ。自分の限界を決めない。
- 「得意だから大丈夫」といって気を抜かない。得意なことでも丁寧にする。自分の良さがもっと伸びるように、こつこつ努力する。
- あきらめたり面倒がったりしないで、努力して今の自分よりも上を目指す。
- 「自分はできる」と思うのではなくて、毎日こつこつ努力する。



自分の良いところを
どんな風に伸ばしていく？

